

2025年6月30日

にらづか こずみだ
葦塚蓄電所・小角田蓄電所の営業運転開始について
～再生可能エネルギー導入拡大と電力需給安定化へ向けた系統用蓄電池事業を推進～

みずほリース株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:中村昭、以下「みずほリース」)の100%子会社であるエムエル・パワー株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:櫻井成昭、以下「エムエル・パワー」)と、東北電力株式会社(本店:宮城県仙台市、代表取締役社長 社長執行役員:石山一弘、以下「東北電力」)は、本日、「にらづか蓄電所」(群馬県伊勢崎市)、「こずみだ蓄電所」(群馬県太田市)の営業運転を開始いたしました。

にらづか蓄電所・こずみだ蓄電所は、再生可能エネルギーの導入拡大と電力需給の安定化に向けた「系統用蓄電池事業」として、エムエル・パワーと東北電力が共同で設立した「坂東蓄電所1号合同会社」(以下「合同会社」)が建設を進めてきたものです。(2024年2月26日お知らせ済)

今後、にらづか蓄電所・こずみだ蓄電所内に設置した大型の蓄電池を、再生可能エネルギーによって生じる電力の余剰や不足に合わせて充放電をすることで、電力需給を安定させ、再生可能エネルギーのさらなる有効活用に繋げるとともに、蓄電池を用いた電力の売買による収益化を目指してまいります。

なお、合同会社では、本年3月にやとうこ蓄電所(埼玉県熊谷市)の営業運転を開始(2025年3月4日 [お知らせ済](#))しており、今回のにらづか蓄電所・こずみだ蓄電所の営業運転開始により、東京都の「令和5年度 系統用大規模蓄電池導入促進事業」による助成を活用する系統用蓄電池について、全て営業運転を開始いたしました。

みずほリースは、社会的課題を解決するサーキュラー・ソサイエティ・プラットフォームカンパニーを目指し、再エネの発電・送電・蓄電・利用のマネジメントシステムの構築や、省エネ・エネルギー効率化ソリューション拡充に取り組んでまいります。

東北電力は、分散型エネルギーリソースを最大限活用するサービス※の提供などを通じ、事業領域拡大を図るとともに、脱炭素社会の実現を目指してまいります。

※分散型エネルギーリソース(蓄電池、EV など)を集約し、市場取引などで獲得した収益の一部をお客さまに還元するサービス。

以上

(別紙)にらづか蓄電所・こずみだ蓄電所の概要

【お問い合わせ先】

みずほリース株式会社 経営企画部
Tel03(5253)6540

東北電力株式会社 地域共創・広報ユニット
Tel022(799)1231

にらづか こずみだ
菰塚蓄電所・小角田蓄電所の概要

1. 蓄電所の概要

蓄電所	営業運転開始	出力	容量	蓄電池メーカー
にらづか 菰塚蓄電所	2025年6月30日	1.96MW	7.46MWh	(株)GS ユアサ
こずみだ 小角田蓄電所	2025年6月30日	1.99MW	7.40MWh	(株)パワーエックス

注:蓄電池種類は、いずれもリチウムイオン

(にらづか蓄電所 完成写真)



(こずみだ蓄電所 完成写真)



2. 役割分担

坂東蓄電所 1号合同会社※1	にらづか こずみだ 菰塚・小角田蓄電所の運営
エムエル・パワー株式会社※2	プロジェクトマネジメント、アセットマネジメント
東北電力株式会社	にらづか こずみだ 菰塚・小角田蓄電所の市場運用(卸電力市場・需給調整市場・容量市場)

※1:出資比率はエムエル・パワー株式会社 50%、東北電力株式会社50%

※2:みずほリース株式会社100%子会社

【参考:弥藤吾蓄電所の概要】

蓄電所	営業運転開始	出力	容量	蓄電池メーカー
やとうこ 弥藤吾蓄電所	2025年3月4日	1.96MW	7.46MWh	(株)GS ユアサ

注:蓄電池種類は、リチウムイオン